

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームさんこう

(ユニット名)

一階

記入者(管理者)

氏名

星野 洋子

評価完了日

平成 19 年 7 月 25 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月27日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103755		
法人名	(有)三光資産		
事業所名	グループホームさんこう		
所在地	松山市南土居町1 3 1 - 1 (電話) 089-975-3300		
管理者	星野 洋子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月19日	評価確定日	平成19年9月27日

【情報提供票より】 (平成19年7月23日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年1月5日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	12人, 非常勤 5人, 常勤換算 14.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成19年7月23日現在)			
利用者人数	16 名	男性 5 名	女性 11 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5	4 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82.4 歳	最低 65 歳	最高 97 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>職員は、「利用者は人生の先輩である」という姿勢で利用者に接しておられる。職員は、利用者との会話の中からその地方の歴史を知ったり、昔の生活の知恵を教えてもらいうようなこともある。</p> <p>職員は、常にメモとペンを携帯し、利用者の日々の行動や会話の中で気付いたことをメモされており、介護記録に記録をしておられる。又、ご家族とのお話の中からも情報を得ておられる。</p> <p>お天気やご本人の希望に合わせて、散歩に出かけておられる。又、遠くのショッピングセンターまで買い物に出かけることもある。ベッドで過ごすことの多い方についても体調を見ながら、短時間でも外出できるよう支援されている。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて改善計画書を作成し、取り組まれた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価については、職員からの意見を聴きながら管理者がまとめられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回の会議が6月に開催された。出席者に事業所の紹介や認知症について説明がなされた。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の来訪時、運営者やホーム長は、ご家族が意見を出しやすいような雰囲気作りに努めておられる。「食事やおやつに好物を食べさせてあげて欲しい」というようなご家族からの希望にも対応されている。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所は、町内会に加入されており、町内会長が時々事業所を訪れ、町内の行事等の情報を教えてくれている。秋祭りには、事業所の駐車場で神輿のかきくろべが行われ、男性の利用者も一緒に神輿を担ぐこともある。町内清掃に職員も参加されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			利用者の地域参加や地域住民との交流を通し、地域社会との繋がりを感じられる理念を作り上げている。		
			(外部評価)		
			職員で話し合い、利用者のゆったりとした暮らしを支援するための理念が作られている。		さらに、地域密着型サービス提供事業所として、貴事業所の目指すことについて、話し合ってみる機会とされることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々の申し送りやミーティング時、またその日の関わりの振り返りの時も理念に基づいた確認や話し合いができています。		
			(外部評価)		
			職員採用時、事業所の理念について説明されている。又、ミーティング時や日々の申し送り時等、職員で理念に立ち戻り話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族には訪問時に、地域住民に対しては地域との会合や地域行事の参加時他、機会があるごとに取り組みについて説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常の散歩や外出時には気軽にあいさつを交わしている。また、花を頂いたりする関係も築かれている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の夏祭りや秋祭り他、いのこなど大人だけでなく、子供との交流にも努めている。 (外部評価) 事業所は、町内会に加入されており、町内会長が時々事業所を訪れ、町内の行事等の情報を教えてくれている。秋祭りには、事業所の駐車場で神輿のかきくらべが行われ、男性の利用者も一緒に神輿を担ぐこともある。町内清掃に職員も参加されている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域での研修や講習にも参加し、地域のお年寄りの現状の把握に努めたり、日頃から地域住民からの相談も受けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の結果はミーティングで報告し、自己評価と外部評価との認識の差異の確認を行い、改善に向けての具体的な話し合いを職員全員で取り組み質の向上に努めている。 (外部評価) 前回の評価結果を受けて改善計画書を作成し、取り組まれた。自己評価については、職員からの意見を聴きながら管理者がまとめられた。		自己評価に取り組んだ際に、事業所で気付かれたことは、質の向上への最大の起点であり、今後も評価の仕組みをさらに活かし、取り組んでいかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>一方的な報告や説明の場にならないよう、率直な意見が出し合えよう配慮している。</p>		
			(外部評価)		
			<p>第一回の会議が6月に開催された。出席者に事業所の紹介や認知症について説明がなされた。</p>		<p>今後、消防署の方や地域のいろいろな立場の方に参加をいただけるよう働きかけ、事業所についての質問や意見をいただきたいと考えておられた。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>いつでも連絡や協議をしながら、問題解決を図るよう体制をとっている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>松山市の介護保険課や生活福祉課の方と情報交換を行い、担当者と協議しながら問題の解決に向けて話し合っておられる。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>機会あるごとに職員への説明を行っており、必要な場合はすぐに支援できる体制をとっている。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>研修会やミーティングを通して日頃から虐待防止に対する意識を高めている。また、家族の方にもできる限り訪問していただき、閉鎖的な虐待を生むような環境にならないよう注意を払っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時や契約解除の際には、時間を十分かけて納得するまで説明、話し合いを行い、利用者や家族等が不利益にならないよう手続きを行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) いつでも利用者よりの意見・不満・苦情には対応しており、気づきノート等への記録を通して全員で問題解決を図り、運営に反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 個々の入居者、家族等の状況に応じて心身の状況の変化やその他問題が生じた場合以外でも、できるだけきめ細かい報告を行っている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時や月一回、ご家族に利用者の日々の生活について報告をされている。又、ご本人の心身の状態に変化があった時には、詳細を報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 訪問時には、意見・不満・苦情等が表せ易いよう時間と場面作りを行っている。また、電話でもこちらからの問いかけを心がけ意見・不満・苦情の言い易い雰囲気作りを行っている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時、運営者やホーム長は、ご家族が意見を出しやすいような雰囲気作りに努めておられる。「食事やおやつに好物を食べさせてあげて欲しい」というようなご家族からの希望にも対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のケアカンファレンスやミーティング時に職員の意見を聞くようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に合わせた勤務体制が取れており、職員の急な欠勤にも対応できるよう人員確保、スケジュール管理ができています。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動や離職等による心理的な影響が最小で収まるよう十分配慮し、馴染みの関係を築くことを優先するような職員配置を行っている。		
			(外部評価) 新しい職員が入る場合には、利用者一人ひとりにきちんと紹介をされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 正社員だけでなく、パート社員にも積極的に他の事業者や行政の勉強会や研修に参加してもらっている。		
			(外部評価) 事業所で「教育プログラム」を作成し、介護経験豊かな職員に教えてもらうような仕組みとなっている。外部研修は、興味のある職員が受講されている。		さらに、事業所の質の向上を目指し、職員の段階に応じた研修を受講できるよう、すすめていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			同業者とは交流の機会がとれており、常に連携も取れ協働しながら質の向上に取り組んでいる。			
			(外部評価)			
			運営者や管理者は、地域の他事業者と意見交換や交流する機会を持たれている。		さらに、職員も他事業者と交流できるような機会を作っていかれてはどうだろうか。職員の意見等も聞き取りながらすすめていかれることが期待される。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			毎日の休憩時間には短時間でも職員や利用者から完全に離れ、気分転換が図れるよう休憩の場を確保している。また、日々の職員とのコミュニケーションから個々の悩みやストレスを把握するよう努め、その要因を取り除いたり緩和するよう配慮している。			
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			職員一人ひとりが健康的に向上心を持ち、やりがいを感じながら働けるよう職場環境や労働条件を配慮している。職員の資格取得にも積極的に支援している。			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			まず、本人より訴えや話を十分に傾聴し、思いや希望を把握し安心してサービスの利用ができるよう信頼関係づくりに努力している。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人の思い、家族の思いそれぞれを理解し受け止めるよう、話しを十分に聞いている。また、家族の困っていることや不安について状況を把握し信頼関係づくりに努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人や家族の状況等を確認し必要なサービスが受けられるよう柔軟な対応を行い、必要ならば他事業者との相談やサービス利用等の連携をとっている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 当事業所の雰囲気にな得られ利用ができるよう、事前に本人・家族に事業所の見学をさせていただいている。		
			(外部評価) 入居前に、ご家族とご本人が事業所を見学を訪れ、他の利用者と一緒にお茶を飲まれたり、レクレーションを楽しまれることもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者と一緒に生活しながら、人生の先輩という尊敬の念を持ち学ばせていただいているという姿勢で利用者とは接している。職員・利用者はお互いに不安や悩み苦しみを言える関係であり、共に共感、理解し合える関係である。		
			(外部評価) 職員は、「利用者は人生の先輩である」という姿勢で利用者に接しておられる。職員は、利用者との会話の中からその地方の歴史を知ったり、昔の生活の知恵を教えてもらうようなこともある。又、時に起こる利用者同士のトラブルには、早目に対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の苦しみや悩みを受け止め、一緒になって本人を支えていけるよう関係を築いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族との関係を理解し、たとえ遠方でも疎遠にならないよう		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人のなじみの場所、友人、美容院、歯医者、病院とも関係が途切れないように家族を通して交流できるよう支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 毎日の食事や午前・午後のおやつ時に職員も一緒に過ごし、利用者同士の関係の理解を深めるとともに、間に入って利用者同士のコミュニケーションが取れ合うよう支援し特定の利用者の孤立を生まないよう努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用終了後も家族との連絡を取り合いながら関係を続け、必要であれば再度のサービス利用の相談にも対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 日々の関わりの中で把握に努めている。意思疎通の困難な方には家族から情報を得よう努め、本人にとって何が最善な暮らしなのかを家族を交えて検討している。</p> <p>(外部評価) 職員は、常にメモとペンを携帯し、利用者の日々の行動や会話の中で気付いたことをメモされており、介護記録に記録をしておられる。又、ご家族とのお話の中からも情報を得ておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 利用前や利用直後は、当事業所を利用するに至った経過やそれまでの生活歴について本人や家族等より聞きとっていき、利用者についての把握に努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 日々の関わりの中から本人の生活のリズムや暮らし方について申し送りや気づき等を利用して把握に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 普段の会話の中から本人の思いや意向を掴み取り、それを基に十分な話し合いを行い利用者主体の介護計画の作成を行っている。</p> <p>(外部評価) 日々のかかわりの中で、ご本人やご家族の希望を聞き取り、職員全員で意見交換を行い、介護計画に反映されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				常に介護計画の評価は行っており、必要に応じ見直しを行い現状に即したプランになるよう努めている。	
			(外部評価)		
					3ヶ月ごとの見直しと状態変化時には、ご家族に連絡し、ご家族や関係者と話し合い、見直しをされている。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				ケアプランに沿った介護記録を行うようにし、日々の食事、水分、排泄の記録だけでなく、本人の会話や職員の対応・会話等も記録し、情報の共有を行っていくことで職員の経験に関係なく同じ対応が取れるよう努める。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				本人や家族の状況に応じ、通院や送迎等必要な支援を柔軟に対応している。また、緊急の受診や入院にも医療連携体制を活かし対応している。	
			(外部評価)		
					ご本人やご家族の希望に応じて、かかりつけ医院への通院や送迎の支援をされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じ民生委員や警察、消防等協力し合っており、安心して生活が送れるよう支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者の状況や希望に応じて、訪問マッサージや訪問理容、配食サービス等のサービスを利用してもらっている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議をきっかけに、地域包括センターとは関係が強化されている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力病院とは別に、本人や家族等の希望に応じ馴染みのかかりつけ医を利用していただいている。 (外部評価) かかりつけの歯科医に、訪問診療に来てもらえるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 提携医療機関に脳神経外科があり認知症に関する診断や相談がいつでも受けれる体制ができている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 提携医療機関を通して看護師とも契約を行っており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。また、緊急の場合等は24時間相談、受け入れができるよう連携をとっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は家族や病院と情報交換をしながら、事業者内での対応可能な段階でなるべく早く退院できるようにしている。点滴等も、できるだけ利用者の負担にならないよう訪問にて対応することもある。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 早期から関係者と話し合いを十分に繰り返し行い、重度化した場合、事業所での最大の支援方法を本人や家族に説明し理解していただいている。 (外部評価) 重度化や終末期のことについては、入居時、事業所の方針をご家族に説明されている。又、状態変化時には、ご家族と相談しながら支援されている。		さらに、重度化や看取りについて、職員で話し合うような機会作りが期待される。ご本人にかかわるすべての人たちで方針を共有しながら、取り組んでいかれることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人の状況や家族の意向を十分に考慮して、安心して暮らせるよう職員は理解しかかっている。また、急変の場合には、すぐに対応していただけるよう提携医療機関とも連携を図っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた場合は、利用者の環境や暮らしの変化による心理的、肉体的負担が最小限になるようできるだけ細かく情報提供を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 普段の関わりや記録等において、プライバシーを損ねるようなことがないよう、職員には日々のコミュニケーションの中で常に細心の注意を払うよう徹底している。		
			(外部評価) 職員採用時、個人情報の取り扱いと秘密保持について説明をされ、確認されている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 何か行動を起こす場合でも、必ず利用者の意思を確認してから行うようにしており、また、意思表示困難な方には表情や体の動きから意思を確認し、できるだけ本人に決めていただくよう支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 起床時間、食事おやつの時間、食べる場所、その日の過ごし方、就寝時間等細かくは決めずにその日の状況によって柔軟に対応している。		
			(外部評価) 職員は、利用者個々のその日の体調や、ご本人の気持ちを尊重し、起床時間や朝食の時間等、個別に対応をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 朝の着替えは意思表示できる方には、本人に着る服を決めてもらっている。なじみの美容院も利用させていただいたり、希望があればヘアカラーや自由に化粧もしていただいている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の希望や好みに対応した栄養バランスの摂れたメニューにしている。食事前後の準備や片付け、料理の下ごしらえもスタッフと一緒に楽しみながら行えている。 (外部評価) 事業所では、食材が届くようになっている。献立は利用者の希望を聞きながら決められ、時には季節の野菜を加えアレンジをされることもある。おやつは職員と利用者が一緒に手作りをされている。食後にコーヒーをご自分で作って飲まれている方がおられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の好む飲み物や果物、お菓子、パン等の嗜好物を他の利用者に配慮しながら、個人で楽しめるよう考慮している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) できる力を維持していくためにも、本人の希望に沿ったトイレの使用をしている。また、本人の生活のリズムに合わせて行きたい時に行けるよう支援している。オムツであっても、本人訴えあればトイレ誘導を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴を嫌がったり拒む人に対しては、柔軟に別の日に変更したり、スタッフ間でうまく連携し合い、声かけの仕方やタイミングを変えたりして無理なく入浴をして頂いている。		
			(外部評価)		
			現在は、約半数の利用者の方が特別浴槽を利用されている。		さらに、介護度が重度の方もリラックスして入浴を楽しむことができるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中できるだけ活動を促して体を動かして頂いたり、無理な利用者には日光浴だけでもしていただき、夜間、気持ちよく安眠していただけるよう支援している。また、夕方から不穏になられる方にも、声のトーンを変えたり、関わりをより密にしたりして安心感を与えるような関わり方を工夫して行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			園芸、モップがけ、テーブル拭き、お茶の準備、野菜の皮むき、洗濯、洗濯物たたみ他、一人ひとりができること、得意とする分野で力を発揮していただいている。		
			(外部評価)		
			利用者同士で碁をされたり、書道の得意な方には、経験や知恵を発揮する場面を作っておられる。男性の利用者にも、できる事を行なってもらえるよう、職員は、さりげなく声をかけておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の希望や本人の能力に合わせてお金は所持していただいている。買い物には、職員が同行し買いたい物を職員と相談しながら買い物をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの体調や希望を考慮し、近くへの散歩や庭での日光浴だけでなく、車でドライブや買い物にも出かけている。		
			(外部評価)		
			お天気やご本人の希望に合わせて、散歩に出かけておられる。又、遠くのショッピングセンターまで買い物に出かけることもある。ベッドで過ごすことの多い方についても体調を見ながら、短時間でも外出できるよう支援されている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			職員だけでなく、家族と共になじみの場所や普段行けない所へ出かけて行ける機会を多く作っている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族との手紙や電話には、可能な限り本人自らができるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問の時間も特に設けてなく、いつでも気軽な訪問ができるよう支援している。また、気兼ねなく過ごして頂けるよう希望に沿った場所を提供している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員はミーティング等を通して日頃からお互いに確認し合い、身体拘束をしないケアに努めている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 必要に応じ夜間等鍵をかけているが日中散歩に行けたり、日光浴に出て行かれる場合等自由に出入りができるように鍵だけでなくドアも開けっぱなしにして出入りし易いように配慮している。		
			(外部評価) 居室や玄関には、鍵はかけられておらず、職員は、利用者の行動を見守っておられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中夜間を問わず、利用者の状況確認は行っており、記録等事務作業も利用者と同じ空間で行っており、常に見守りを優先している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況に合わせて最善の保管管理を行っている。一律に鍵をかけて保管や管理をしないようにしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの心身の状態から予測できる危険を、ミーティングや毎日の申し送りにて常に検討されており、事故を未然に防ぐ工夫がされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 日頃から万が一に備え、管理者やリーダーが中心となり、急変や事故発生時の応急手当や初期対応の指導を行っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消火器の使い方の訓練や避難路の確保、消火設備等の定期的な点検が行われている。また、緊急時の連絡体制がとれている。 (外部評価) マニュアルを作成し、年に2回、消防署と一緒に訓練を行い、避難路の確認や消火器の使い方の指導を受けている。又、松山市から災害避難所の指定を受け、事業所では、食料や水、寝具を準備されている。		さらに、すべての利用者が安全に避難できるよう、地域の方との協力体制の確保や利用者も含めた避難訓練等、いろいろな場面を想定して、すすめていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 利用者に起こるリスクについては、入居前・後を問わず状態の変化ごとに常に説明が行われており、また理解を得られるように努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりの状況を毎日のバイタルチェックや観察・見守りにより把握しており、変化があればすぐに管理者に報告するような体制になっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 薬表や申し送りを通して、全職員が薬の内容や服薬方法他、内容の理解を行っている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 日中、食事やおやつの内容を考えて提供を行っている。また、入眠前には温かい牛乳を飲んで頂いており、できるだけ自然排便を促している。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後の口腔ケアの声かけ、介助を必要とされている人には、職員が支援しており、義歯の方は入眠前には薬での洗浄も行っている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) カロリー計算された食事の提供、食事量の記録を行っており、必要な栄養が摂れている。 (外部評価) 持病のある方については、水分摂取量と排尿量を記録されている。食事は、カロリー計算された食材で調理されている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 事業所内で起こり得る感染症について、細かくマニュアル化されており、全職員で学習して予防と対策に努めている。インフルエンザの予防接種やノロウイルス対策のペーパータオル・消毒液、専門業者による清掃と消毒も行っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日の台所の水周りやまな板他の調理器具の掃除と消毒、食材の賞味期限の確認の徹底等、食中毒の予防のための対応が毎日継続している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>駐車場や玄関に常に花や植物を置き、季節感を演出したり、入りやすい雰囲気作りを心がけている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者にとって居心地のいい家具の置き場や装飾には工夫や配慮している。できるだけ季節感を感じられる装飾を常に心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間には、夏祭りやお花見時の写真が飾られていた。又、皆で過ごせるスペースと個々が自由に過ごせるスペースがあり、利用者は、お好きな場所で過ごされていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関ホールには椅子や花を置き、いつでもくつろげるスペースをつくっている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人が居心地よく暮らせるよう、家具や身の回りは日頃から使い慣れている物を持ち込んで頂き、使って頂けるよう配慮している。		
			(外部評価)		
			利用者個々の居心地のよさを考えられている。ご自宅で使用されていたベッドや机や仏壇等、馴染みものに囲まれた居室もあり、又、シンプルなしつらえの居室もみられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			室内の温度調整には気を配り、できるだけ窓を開け外気を取り入れ、自然の風や温度を感じて頂くとともに、利用者の状態や反応を見ながらこまめに温度調整をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すり、トイレ、ホール、洗面所、浴室等自立と安全確保を考えながら、利用者の身体的状況に合わせた工夫がされている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			環境による混乱や失敗にはその都度本人の不安を取り除くよう、職員全員で考え環境整備を行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭やベランダには花や植物・野菜を植えるスペース確保を行っており、日常的に利用者が楽しみながら活動できる環境をつくっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入所前、また入所後も十分な話しや日頃のコミュニケーションを通して、利用者の意向をつかむよう努めている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午前・午後ともおやつ時間を設けており、お茶を共にしながらのんびりとお話したり、一緒にゆったりとした時間を毎日過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	タイムスケジュールのようなものもなく、一人ひとりの状況や利用者のペース・暮らし方を尊重し生活している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人では買い物に行くことができないが、車での支援を行うことで行きたい所にも行って、自分の好きな物の買い物ができ喜ばれることが多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できるだけ個別に、希望の所へ出かけて行けるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェックや提携医療機関との連携が密にとれており、何かあればすぐに対応ができる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の状況や要望には、可能な限り柔軟に支援を行うよう努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の訪問時、又は必要に応じ電話にて利用者の状況説明だけでなく家族の要望や思いも十分に聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	理容師、水業者、昔からの友人等継続して訪問して頂いている。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	判 断 し た 具 体 的 根 拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通し、グループホームに初めて訪れた地域の方が多く理解者が確実に増え、興味を持って参加されている方も多く、応援者も増えている。
98	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できるだけ個々の意見を吸い上げ、管理者による押し付けの介護ではなく、職員一人ひとりが自分で考え、これでいいのか？常に問題意識を持って働いている。
99	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の意向を十分に聴いていることもあり、一人ひとり笑顔もよく見られ満足が感じられる。
100	①ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族よりの希望や要望にはすぐに対応を行っている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

一人ひとりの性格や暮らしのリズムを尊重し、押し付けられた暮らしではなく「どうしたいのか？何を求めているのか？」を常に考えながら、利用者主導の過ごし方、暮らしができるよう利用者の立場に立った支援を行っている。また、その人らしい生き方ができることで、会話や笑顔も増えることを日々の目標としている。